

診療情報を集めて行う臨床研究に関するお知らせとお願い

熊本機能病院 薬剤部では、「GLP-1 受容体作動薬デュラグルチド投与開始による血圧、脈拍への影響調査」の研究に取り組んでいます。

研究の概要

デュラグルチド（商品名：トルリシティ皮下注 0.75mg アテオス）は 2015 年 9 月に販売開始となった糖尿病治療薬で、膵臓のβ細胞の Glucagon like peptide 1 (GLP1) 受容体に結合してインスリン分泌を亢進し血糖を下げます。デュラグルチドは自動注入器の皮下注製剤で、その用量は日本と海外では異なり、日本では週 1 回 0.75mg ですが、海外では週 1 回 0.75mg または 1.5mg で使用されています。

GLP-1 受容体は心筋細胞や血管内皮細胞にも存在し、GLP-1 受容体作動薬は血圧、脈拍に影響を及ぼすことが知られています。海外のデュラグルチドによる血圧、脈拍への影響を調査した試験では、デュラグルチド開始後 4 週以降の血圧低下、脈拍上昇が報告されています。しかし、この試験は用量が日本とは異なり、デュラグルチド開始後 4 週未満の調査が行われていません。そのため、日本人への影響や血圧低下、脈拍上昇が発現する時期が不明であるので、今回デュラグルチド開始前後の血圧、脈拍の推移を調査します。

対象となる方

2015 年 9 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日までに熊本機能病院に入院し、デュラグルチドを使用された患者さん

研究期間

2019 年 12 月 20 日 ～ 2021 年 3 月 31 日

利用する診療情報

患者背景（年齢、性別、BMI、既往歴、血圧、脈拍、体重）

内服薬（降圧薬、不整脈薬、糖尿病治療薬）

血液検査値（血糖値、ヘモグロビン A1c、AST、ALT、血清クレアチニン、eGFR、BNP）

研究機関の名称：熊本機能病院 薬剤部 部長

研究責任者氏名：杉山 留美子

個人情報の取扱いについて

診療情報の利用に関しては、個人情報は全て匿名化されてから解析されますので個人情報が漏れることはありません。また研究結果は、学術雑誌や学会等での発表に使用させて頂くことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。

上記の研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき実施しております。この研究にあなたの診療情報が利用されることに同意できない場合は対象と致しませんので、お手数ですが下記のお問い合わせ先にご連絡ください。また、ご不明な点があるとき、または研究計画等に関する資料をお知りになりたい場合は他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事以外はお知らせすることができますので、ご連絡ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用させていただくことに対して同意が得られたものとさせていただきます。また、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を被ることはありません。

お問い合わせ先

熊本機能病院 薬剤部 薬剤師 武藤 崇

T E L : 096-345-8111(内線 3257)、 F A X : 096-345-8188